

事業所名

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

8年

1月

15日

法人（事業所）理念	地域と共に、医療福祉に力を入れ、子ども達皆が笑顔になるような支援を行います。				
支援方針	学校卒業後のことも見据え、自分の気持ちを少しでも伝えられる様になり、様々なことを感じて沢山遊び、日々の成長を促します。 他の事業所さんや相談員さん、医療との連携を持ち、一人一人にあった療育を提供します。 ご家族の困りごと等、何でも話せる関係を作り支援致します。				
営業時間	15時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	学校からの引継ぎ内容を踏まえ、看護師や他のスタッフにより体調面の気づきを大切に、一人一人に合った医療的ケアの提供（来所時と帰宅前のバイタルチェック、必要時のバイタルチェック、人工呼吸器や酸素量のチェック、必要な医療的ケアの実施） 医師の指示のもと、理学療法士や看護師による排痰ケアの提供（排痰補助装置やIPVによる排痰促進）、トイレトレーニング・食事動作自立支援・着脱動作の指導・環境の構造化			
	運動・感覚	理学療法士の評価～プログラム実施→必要に応じて学校教諭への伝達を行う。 （変形予防による体幹装具や足関節装具の評価、関節可動域訓練、体位変換等、姿勢保持機能訓練、歩行訓練など） 感覚の特性を踏まえ、一人一人に合った感覚統合を目指す。（マッサージ、視覚、聴覚、固有感覚等）			
	認知・行動	（学校での方法を調査し）スケジュールの支援（絵カードや文字など使い、スケジュールを分かりやすく提示。 工程を見える化し、完成までの順序を意識しそれを楽しむ活動の実施（季節の製作、クッキング～味見など） 机上課題（個別にて行う）			
	言語 コミュニケーション	一人一人のサインを観察し状況判断も含め、Yes/Noのサインの確立を目指す。 （活動中でのやり取りに重きを置き反応を観察する。ベビーサインを用いる。スイッチを使用して何かしらの表現する練習。文字の練習等） トイレトレーニングからのYes/Noのサインや排尿時の様子の観察を含めて、実施と結果を評価し、本人が分かりやすいように支援する。			
	人間関係 社会性	お友だちとの関りの中で楽しいと感じる （信頼関係を築き、安心した環境の中で過ごせる。一緒に遊んで楽しむ。お友だちとの関りの中で自分の意思とお友達の意思を感じて、譲り合う等の気持ちを知る。色々なルールを感じる。）			
家族支援	・なんでも話しやすい関係づくり ・ご用事による利用時間の変更の対応（送迎なども含む） ・定期的な面談	移行支援	生活介護に向けて情報共有、支援学校以外では保育所等訪問事業を行う		
地域支援・地域連携	相談支援事業所、他事業所、保育園や幼稚園、学校などと日常的に情報共有を行う。地域の作品展などには率先して参加する。	職員の質の向上	・研修会の実施、面談 ・担当者会議を踏まえた「気づき」の共有を行い、日々の支援のクオリティを上げる		
主な行事等	春：花見、公園遊び、散歩、季節の制作 秋：イチヨウ狩り、運動会(他事業所含め保護者とときょうだい参加) 冬：気切の制作、クリスマス会(保護者・きょうだい参加)、餅つき、書き初めや初詣 夏：季節の制作、プール、プラネタリウム、夏祭り、コンサート 年度末：高校卒業の方がおられる場合に卒ばん式(保護者交流会) 月1回：避難訓練				